

病虫害発生予察情報

7 月月報

平成 18 年 8 月 1 4 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2006 年 7 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	28.2	1.2	22.4	2.6	24.9	1.7	65	106	5.3	21
中旬	29.2	1.1	22.8	1.6	25.4	1.1	120	252	15.5	67
下旬	28.0	-1.4	22.2	-0.5	24.6	-1.5	22	36	20.2	38
平均	28.5	0.0	22.5	1.3	24.9	0.4				
合計							207	121	41.0	39

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上旬は平年より高く、中旬は平年並み、下旬は低かった。

降 水 量：上・下旬は平年並み、中旬は多かった。

日照時間：上・中旬は平年より少なく、下旬は平年よりかなり少なかった。

<天候概況>

上旬：梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

中旬：梅雨前線の影響で雨の日が多かった。

下旬：梅雨前線が南岸に停滞し、曇の日が多かった。期間後半には梅雨前線の活動が弱まったため晴れ間もでた。

2 作物生育概況

(1)イネ

生育はやや遅れており分けつ数も少ない傾向にある。一部の圃場では葉いもち病の発生がみられている。

(2)サツマイモ

生育はほぼ順調である。

(3)野菜

果菜類等(露地栽培のトマト、キュウリ等)では日照不足の影響で全体的に生育が不良であり、上物率が低下し収穫終わり先早まった。ナスについては特に生育の遅れが目立ち、茎が細く、収量も少ない傾向であった。一部の地域では7月15日の豪雨・突風・降雷でナスに被害がみられた。スイートコーンは生育がやや遅れ、雌穂も小さい傾向で、一部の地域では7月15日の強風により倒伏するものがあった。

葉菜類(施設および露地のコマツナ、ホウレンソウ)の生育は概ね順調であるが、一部の地域では露地において雹の被害がみられた。

イモ類(ジャガイモ、サトイモ)はほぼ順調な生育であった。一部の地域では雹によりサトイモの葉が破

れるなどの被害がみられた。

(4)果樹

ナシ：極早生品種‘あけみず’の収穫始は8月2日で、平年よりも3日遅かった。

ブドウ：‘高尾’の着色開始時期は、平年よりやや遅かった。

(5)茶 樹

1番茶の摘採が遅れたため2番茶の摘採が7月にずれ込む茶園が多かった。病虫害ではチャノホソガ、チャハマキの発生はやや少なく、チャノコカクモンハマキは平年並みに推移している。また、炭疽病がやや発生がみられる。

3 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病

<平地：並み，山間部：やや多> 全般的には平年並であったが，町田市および青梅市の山間部ではやや多かった。

紋枯病

< 並 > 発生は平年並であった。

ニカメイガ

< 少 > 発生は少なかった。

イネツトムシ

< 少 > 発生は少なかった。

コブノメイガ

< 少 > 発生は少なかった。

ヒメトビウンカ

< 少 > 発生は少なかった。

セジロウンカ

< 少 > 発生は少なかった。

斑点米カメムシ類

< やや少 > 発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナ シ

黒星病

< 少 > 発生は少なかった。

黒斑病

< 少 > 発生は少なかった。

ハダニ類

< 少 > 発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ

< 多 > 発生は多かった。

クサギカメムシ

< 多 > 発生は多かった。

(3) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ

< 少 > 発生は少なかった。

チャノコカクモンハマキ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

チャハマキ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

チャノホソガ

< やや少 > 発生はやや少なかった。

ナガチャコガネ

< 少 > 発生は少なかった。

(4) 野菜の病虫害

トマト

モザイク病

< 少 > 発生は少なかった。

葉かび病

< やや少 > 発生はやや少なかった。

白ぶくれ症

< やや多 > 発生はやや多かった。

オンシツコナジラミ

< 並 > 発生は平年並であった。

オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< やや多 >	6 月以降やや多い状況で継続した。
斑点細菌病	< 並 >	発生は平年並であった。
つる割病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナス		
半身萎凋病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
エダマメ		
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 多 >	発生は多かった。
ダイズサヤムシガ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
萎黄病	< 少 >	発生は少なかった。
白さび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
キスジノミハムシ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
 (5) 花きの病害虫		
シクラメン		
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
 (6) 植木の病害虫		
街路樹など		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
 (7) 島しょの病害虫		
大島：コナジラミ類の発生が多かった。		
八丈島：野菜類とロベおよびレザーフアンでコガネムシ類の発生が多かった。		
小笠原諸島：かんきつ類でリュウキュウミカンサビダニの発生が多かった。		

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月10日	8月10日	0	0
大田市場	7月10日	8月10日	0	0
板橋市場	7月10日	8月7日	0	0
淀橋市場	7月12日	8月7日	0	0
青梅青果市場	7月4日	8月8日	0	0
福生青果市場	7月4日	8月8日	0	0
八王子北野市場	7月4日	8月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月4日	8月8日	0	0
三鷹市場	7月5日	8月9日	0	0
東久留米市場	7月5日	8月9日	0	0

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報，発生状況，防除方法
などをお知らせしています。